

1. 実践研究校名

ふりがな	みさきちょうりつやなはらひがししょうがっこう
学校名	美咲町立柵原東小学校

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	・研究の推進計画立案		
5月	・外国語活動年間計画・全体計画の検討 ・授業研究 5年「ジェスチャーをしよう」 4年「これなーんだ」 指導助言 県総合教育センター指導主事信宮誠先生・塩崎弘之先生		
6月	・授業研究 3年「どんな動物が好き？」 1年「たべものいっぱい」 指導助言 県総合教育センター指導主事 塩崎弘之先生 ・アンケート実施	・第1回 外国語活動情報交換会 情報交換	
7月	・授業研究 6年「アルファベットで遊ぼう」 2年「曜日を伝えよう！」 指導助言 県総合教育センター指導主事 信宮誠先生 ・外国語活動における評価について	・第2回 外国語活動情報交換会 情報交換	
8月	・外国語活動の児童アンケートについて ・指導の工夫についてグループ研究 ・英語ノートを使った授業について ・視聴覚機器の効果的な使用法について	・和気町小学校外国語活動研修会で取組を紹介 ・総合教育センター研修会で取組を紹介	・第1回推進協議会
9月	・学習指導案検討	・第3回 外国語活動情報交換会 第1回推進協議会の報告	
10月	・外国語活動における教材の工夫についてグループ研究		
11月	・小学校外国語活動研究発表会開催 5年「外来語を知ろう」6年「将来の夢を紹介しよう」 指導助言 教育庁指導主事 西田寛子先生 県総合教育センター指導主事 塩崎弘之先生	・第4回 外国語活動情報交換会 小中共同授業について	・研究発表会（中正小学校）
12月	・授業研究 6年「オリジナル劇をつくらう」 柵原中学校英語担当との共同授業	・第5回 外国語活動情報交換会 授業公開・意見交流	
1月	・アンケート実施	・第6回 外国語活動情報交換会 全国小学校外国語活動実践研 大会の報告	・先進校視察（京都市） ・第2回推進協議会
2月	・学年別年間指導計画の見直し	・第7回 外国語活動情報交換会 第2回推進協議会の報告	
3月	・本年度の研究の成果と課題 ・来年度に向けて		
【その他の取組】			
・美咲町教育研究会高学年部会において、本校の5・6年生の外国語活動の取組をDVDとレポートで紹介（8月、12月）			

3. 取組の具体的な内容 *重点的に取り組んだ事項 (e, b)

a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践

* 重点的に取り組んだ事項については、できるだけ具体的に記入。それ以外の事項については、平成22年度に新たに取り組んだことや改善点のみをできるだけ簡潔に記入。

- ・担任が一人で指導する場合の電子黒板を使用した教材作りに取り組んだ。
- ・国語科との関わりを考えた「外来語を知ろう」の授業づくりに取り組んだ。

b 外国語を通じた、言語や文化についての体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究

- ・評価の観点を「コミュニケーションをする力」「外国語を使って活動する力」「異文化を理解する力」とし、評価規準を作成した。1 単元の中には、必ず3 観点での学習を盛り込むこととし、年間指導計画の中に評価の計画も併せて表記した。
- ・評価の方法について話し合い、授業の中で実践した。その結果、「振り返りカード」で自分や学級全体を振り返る・「活動で使ったカード」で態度や意欲を見る・到達度を示した「カード」を使うことで活動への意欲をときらせないなど、評価と指導との関わりから様々な方法が有効であることがわかった。

c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施

- ・アンケートの中で出てきた「半分くらい理解している」とする児童を詳しく追跡した結果、児童の中に育った外国語への知的欲求を今以上に満足させる必要を感じている。

d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組

- ・先進校を視察して、他校の指導方法等を職員研修で学んだ。
- ・指導案をもとに模擬授業を行い、外国語活動の指導方法について研修した。

<p>e 他の小学校や中学校等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回第2火曜日に郡内の小中学校に呼び掛けて開催した外国語情報交換会で、情報交換をしたり情報提供をしたりした。 ・柵原中学校の英語担当教員と共同で指導する6年生外国語活動を12月に行った。「オリジナルの劇をつくろう」の第2時で行った。進学先の教員に細やかなニュアンスの英語を教えてもらえたことで、児童の英語への関心を高めることが出来た。
<p>f 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT以外にも時に応じて、地域人材にもすぐに入ってもらえる授業づくりが出来た。
<p>g その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町教育研究会高学年部会で本校の外国語活動の授業の様子をDVDで紹介したり取組を報告したりした。

4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

5. 取組の成果等

知的関心を喚起する教材・児童相互の関わりを生む教材を意識しながら、外国語活動に取り組んできた。このような活動をする中で、児童がALTに積極的に話しかけたり外国での様子を聞こうとしたりする姿が目につくことが増えてきた。また、修学旅行先で外国の人に進んで話しかけようとする様子も、見られるようになってきた。外国の人とスムーズに関わることができるのは、児童にとって意義のある外国語活動を体験できたからではないかと思われる。

本校では、行事・掃除・集会・児童会等で縦割り活動を取り入れている。この縦割り活動の中で培われたつながりが、さらにこの研究で得たよくわかる言い方・丁寧な教え方・目を合わせて話しかけるなどのコミュニケーションの力と相まって高まりを見せている。縦割り班で行うきらきら遠足では、高学年児童が1年生の疲労度を心配しながら声をかけて歩いたりみんなを誘ってクイズやゲームをしたりする姿が見られた。後半の班遊びや全校遊びまで気持ちよく過ごし帰校するまで充実した日を過ごすことができた。縦割りで行う運動会の応援合戦でも高学年の児童が率先して動き、下級生のひとり1人に丁寧にやり方や言葉などを教えている場面がどの班でも見られた。また下級生もそのような上級生を信頼して教わったとおりに動こうと頑張る姿が見られた。図書委員会の児童は、低学年の児童のためにブックトークを計画した。よく分かる本の紹介を聞き、低学年の児童は早速本を借り読書への意欲を高めていた。このような高学年の児童の関わり方は低学年児童のモデルとなっている。

外国語活動は5・6年の学習分野であるが、本校では全校で研究に取り組んでいる。今回の研究は、主に教材と評価についてはあったが全校で取組んだことで、コミュニケーション場面をどのように考え設定するか・児童の興味関心を持続させるための多様な評価の在り方等研究の深まりや広がりを得ることが出来た。このような取組によって、以前はあった高学年での外国語活動への意欲の低下がなくなっている。

外国語活動に積極的に取り組む中で、私達教師も気負うことなくまた、楽しみながら毎回の準備や授業ができたことも、研究の大きな成果と感じている。

6. 次年度以降の継続・展開

外国語活動は児童にとって楽しく有意義な時間となっている。この研究を進める中で、他の学習同様に知的欲求を満たしたいと考える児童も出てきた。ALTの発音を良く聞かせることを担任が指導する重点の一つにしてきた。しかし、今後は担任も、何に気付かせるか・何を聞きとらせるか等日本語との違いや外国語の特性を見極めた教材研究を一層進め力量を高めることが必要と考えている。

第5学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 ジェスチャーをしよう（2時）
- ② 使用教材 感情・様子カード ジェスチャーゲームカード フライバスター
- ③ 本時のねらい ジェスチャーの大切さを知り、進んでジェスチャーを付けて思いを伝えようとしている。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価規準・方法
3	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習の流れを知る。 めあてを知る。 	T1 (HRT) ○全体に挨拶をし、その後、学習の流れやめあてを掲示し、見通しが持てるように支援する。	T2 (ALT) ○全体に挨拶をする。本時のめあてを示し意欲付けを図る。	
			「Hello Song」を歌う。		
6	ふれる	<ul style="list-style-type: none"> 歌を歌う。 	○大きな声とジェスチャーで歌い、楽しい雰囲気作りをする。	○大きな声とジェスチャーで歌い、楽しい雰囲気作りをする。	
			いろいろな国のジェスチャーの違いを知ろう。		
13		<ul style="list-style-type: none"> いろいろなジェスチャーを見て違いに気づき、その意味を知る。 	○ALTと2種類のジェスチャーを含んだスキットをする。児童の気づきを大切にするため、わかるまで何度か繰り返して行うようにする。	○違いが明確になるように、大きさにジェスチャーし、児童にわかりやすく提示する。	
			感情や様子を表す言葉を言おう。		
18	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> Tが示したカードを練習する。 発音の難しい言葉を聞き取る。 	○カードを見せながら児童の助けとなるよう、T2の発音した語と一緒に繰り返して発音する。	○カードを提示して、語を発音する。難しい単語は、口の形を見せて、模倣をさせる。	
			フライバスターゲームをしよう。		
25	楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 2グループになり、1対1で対戦をする。ALTが発音したカードをフライバスターで素早く押さえる。 </div>	○児童が進んでゲームに参加できるように、声かけをする。	○感情を表す言葉をゆっくり発音し、正しく聞き取れるようにする。	
			ジェスチャーゲームをしよう。		
40	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を知る。 グループでジェスチャーゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームの振り返りをする。 ○挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールの説明をALTと一緒にデモンストレーションする。表情やジェスチャーなどを意図的に加えながら、話すことを伝える。 ○児童がゲームをしているところへ行き、発音のアドバイスをしたり、ゲームのやり方の手助けをしたりする。 ○英語を使おうとする態度面で良かったところを伝える。 ○挨拶をする。 	<p>■友達に積極的にジェスチャーを付けて問題を出したり、答えたりしている。 (行動観察・ジェスチャーゲームカード)</p>

- ⑤ 言語材料
- How are you? I'm fine.(happy,shy,hot,cold,tired,angry,sad,thirsty,hungry,sleepy, OK, fine)

⑥ 指導後の反省点等

いろいろな国のジェスチャーをスキットをして見せたが、違いがはっきりしていたので、簡単すぎて、児童の興味を引きつけるのが難しかった。実態に合わせて、2種類だけでなく、他のジェスチャーなども提示したらよかった。

ジェスチャーゲームは、とても意欲的に行い、相手に伝えようとして、自然に表情やジェスチャーを工夫しながらゲームができた。時間が予定より早く進んだので、各グループのよかったジェスチャー問題を全体の場で発表しあったのも、よかった。

第5学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 ジェスチャーをしよう（4時）
- ② 使用教材 英語ノート 感情・様子カード ビンゴカード 歌の絵カード
- ③ 本時のねらい 感情や様子をジェスチャーを付けて表現し、相手に伝えようとしている。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
3	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・本時の学習の流れを知る。 ・めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をし、その後、学習の流れやめあてを掲示し、見通しが持てるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をする。本時のめあてを示し意欲付けを図る。 	
		Sensei says ゲームをする。			
8	ふれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声で児童と一緒に発音し、楽しい雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声で児童に呼びかけ、楽しい雰囲気作りをする。 	
		感情や様子を表す言葉を言おう。			
13		<ul style="list-style-type: none"> ・Tが示したカードを練習する。 ・発音の難しい言葉を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを見せながら児童の助けとなるよう、T2の発音した単語を一緒に繰り返して発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを提示して、単語を発音する。 	
		If You're Happy を歌おう。			
18	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTに合わせて、歌を歌い、感情や様子の言い方やジェスチャーに慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒に歌い、自信を持って単語が言えるように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が自信を持ってジェスチャーできるように、大きな動作を付けて歌う。 	
		キー・ワードゲームをしよう。			
25	楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのやり方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで座り、Tが言った語をジェスチャーを付けて繰り返し言い、手を2回たたく。 ・キー・ワードが出てきたら、繰り返さずに、モンスター役は、素早く相手の手をつかみ、ハンバーガー役は逃げる。（役は交代してやる。） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○T2の発音した語を児童と一緒にジェスチャー付きで繰り返して発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キー・ワード以外の語を何度も発音し、最後にキ・ワードを言う。ゆっくり発音して、正しく聞き取れるようにする。 	
		インタビュー・ビンゴゲームをしよう。			
40	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのやり方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の合図で教室を歩き、出会った友だちと挨拶をする。 ・友だち・先生から聞いた様子や感情のビンゴカードの絵にシールを貼る。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールの説明をALTと一緒にデモンストレーションして、表情やジェスチャーなどを意図的に加えながら話すことを伝える。 ○児童がゲームをしているところへ行き、発音のアドバイスをしたり、ゲームのやり方の手助けをしたりする。 ○英語を使おうとする態度面で良かったところを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームと一緒に参加し、発音のアドバイスをしたり、ゲームのやり方の手助けをしたりする。 ○英語について良かったところを伝える。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶をする。 		

■友達に積極的にジェスチャーを付けて、感情や様子を尋ねたり、答えたりしている。
(行動観察・ビンゴカード)

- ⑤ 言語材料
How are you? I'm fine.(happy,shy,hot,cold,tired,angry,sad,thirsty,hungry,sleepy, OK, fine)

⑥ 指導後の反省点等

A L Tの発音をしっかりと聞かせ、楽しみながら何度も繰り返し感情を表す言葉に慣れ親しませるのに、キー・ワードゲームは効果的であった。

ビンゴゲームはゲーム要素が強かったため、児童はビンゴをたくさん達成することに夢中になってしまった。本時の最後には、本単元のねらいであるジェスチャーを付けて友達とコミュニケーションを取ることが必然的に行えるような活動を持つてくるべきであった。

第5学年 外国語活動学習指導案

① 単元名 外来語を知ろう（2時） 英語ノート1（P36～41）

② 使用教材 【教材】 外来語カード 国旗カード

【教具】 おはじき

③ 本時のねらい いろいろな外来語を知り、その語源に興味を持つとともに、進んで自分の欲しい物を答えたり、尋ねたりすることができる。

④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
8	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習の流れやめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。学習の流れやめあてを掲示し、見通しが持てるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。本時のめあてを示し、意欲付けを図る。 	<p>■日本語と英語の違いに気をつけて発音しようとしている。（行動観察）</p>
		ジェスチャーを付けて歌を歌おう。			
	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> 歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で歌をリードし、児童とともに楽しい雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るい声で児童に呼びかけ、楽しい雰囲気作りをする。 	
		Chants ♪ What do you want ? ♪			
13	親しむ	<ul style="list-style-type: none"> What do you want?の表現のチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを行い、自信を持って英語表現が言えるように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに乗って楽しく活動できるように、強弱を付けながら、繰り返し行う。 児童が自信を持って発音できるように、ゆっくり大きな口形で言う。 	
		外来語のふるさとクイズをしよう。			
		<ul style="list-style-type: none"> 外来語のふるさとクイズをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見つけた外来語やみんながよく知っている外来語の語源となる国カードを用意し、クイズ形式で行うことで楽しみながら、外来語に興味を持たせるようにする。 カードを見せながら児童の助けとなるよう、T2の発音した語と一緒に繰り返して発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> 語源が英語の外来語は、英語で発音させ、日本語と英語の発音の違いを意識させながら練習させる。難しい単語については繰り返し練習をさせ、自信を持って言えるように支援する。 	
20	楽しむ	キーワードゲームをしよう。			
		<ul style="list-style-type: none"> 2人組になり、キーワードゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> T2の発音した語を児童と一緒にジェスチャー付きで繰り返して発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> キー・ワード以外の語を発音し最後にキ・ワードを言う。ゆっくり発音して、正しく聞き取れるようにする。 「I want a～」と冒頭に付けて、ゲームをし、次の活動につなげるようにする。 	
27	楽しむ	外来語じゃんけんゲームで品物を集めよう。			
		<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を知る。 ゲームを行う。 ① 2人組を作る。 ② じゃんけんをして負けた人が欲しい物を相手に尋ね、買った人が黒板に貼ってあるカードから好きなものを答える。カードをもらう。 ③ 相手をチェンジして行う。 	<ul style="list-style-type: none"> デモンストレーションをして、ゲームのやり方を示す。児童が活動しているところへ行き、発音のアドバイスをしたり、活動の仕方の手助けをしたりする。 		<p>■進んで自分のほしいものを尋ねたり、答えたりしている。（行動観察）</p>
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、英語を使おうとする態度面や能力面で良かったところを伝える。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語表現について良かったところを伝える。 挨拶をする。 	

⑤ 言語材料 What do you want? I want a pudding, please.

⑥ 指導後の反省点等

- ・いろいろな外来語のふるさとクイズに大変興味を持ち、いろいろな国から言葉が入ってきていることを再確認できた。
- ・語源が英語の単語については、黒板の掲示で視覚的にわかるようにし、発音の練習に生かすことができた。
- ・自分たちが探した身の回りの外来語を使って、2人組の外来語じゃんけん集めゲームは、たくさんの外来語カードを集めようと、尋ねたり答えたりする表現を進んで使い、楽しんで活動に取り組めた。

第5学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 外来語を知ろう (3時) 英語ノート1 (P36~41)
- ② 使用教材 【教材】 外来語カード 国旗カード ショップ看板画用紙 (パンフレット)
- 【教具】 実物投影機 スクリーン プロジェクター
- ③ 本時のねらい 欲しい物を尋ねたり、答えたりする英語表現に慣れ親しみ、ショッピングリハーサルに進んで取り組むことができる。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
8	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習の流れやめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。学習の流れやめあてを掲示し、見通しが持てるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をする。本時のめあてを示し、意欲付けを図る。 	<p>■欲しい物を尋ねたり、答えたりする英語表現をを使って、ショッピングリハーサルに進んで取り組んでいる。(行動観察・ふり返りカード)</p>
		ジェスチャーを付けて歌を歌おう。		<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で歌をリードし、児童とともに楽しい雰囲気作りをする。 	
13	親しむ	<ul style="list-style-type: none"> 歌を歌う。 	Chants ♪ What do you want ? ♪		
		<ul style="list-style-type: none"> What do you want?の表現のチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを行い、自信を持って英語表現が言えるように援助する。 決まったチャンツではなく、いろいろな色カードで連想される果物や野菜などを単語の所に入れてチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに乗って楽しく活動できるように、強弱を付けながら、繰り返し行う。 児童が自信を持って発音できるように、ゆっくり大きな口形で言う。 	
28	楽しむ	外来語ショップのパンフレットを作ろう。			
		<ul style="list-style-type: none"> 外来語ショップのパンフレットを作る。 ① それぞれのグループで調べた外来語10個とその語源の国の国旗を画用紙に貼る。 ② おすすめ商品を3つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が調べた外来語の絵カードを用意し、パンフレットの作り方を説明し、意欲的に活動が出来るようにアドバイスをして支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット作りをしているグループにアドバイスをしたり、活動の手助けをしたりする。 	
40	振り返る	外来語ショッピングリハーサルをしよう。			
		<ul style="list-style-type: none"> 店ごとの2人組のグループになり、ショッピングリハーサルをする。 ① お客と店員になり、リハーサルをする。 ② おすすめの商品を決め、アピールを考え練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTと一緒にデモンストレーションをしてリハーサルの仕方を示す。 おすすめの商品のアピールを順番にグループごとに見て回り、アドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの商品をお客にアピールする言葉や語源が英語の単語について発音をアドバイスし、自信を持って言えるように支援する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、英語を使おうとする態度面や能力面で良かったところを伝える。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語表現について良かったところを伝える。 挨拶をする。 	

⑤ 言語材料 What do you want? I want a pudding, please. Here you are. Thank you. You're welcome.

⑥ 指導後の反省点等

- それぞれのグループで自分たちのお店の外来語を売りたいという気持ちが、手作りパンフレットを工夫して作成するなどの準備の活動の中で高まり、意欲的に活動が出来た。売り買いの表現も、「What do you want? I want a ~, please.」だけでなく、おすすめの商品をアピールしたり、今まで学習したいろいろな国の挨拶を取り入れたりすることで、お客役の友達との会話を楽しんで行うことが出来た。
- 中学校への学習につなげるため「I want a ~, please.」と答えることで、「a」「an」の両方の表現が出てきて、少し難しくなったが、あえて取り上げて練習をした。児童も繰り返し耳にすることで、自然に聞き分けて、まねて発音出来だしている。いろいろな活動の中で、繰り返し聞いたり、発話したりすることでインプットしていくことを改めて実感した。

第5学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 外来語を知ろう（4時） 英語ノート1（P36～41）
- ② 使用教材 【教材】 世界外来語ショッピングカード 外来語カード 色カード 国旗カード ショップパンフレット
品物展示グッズ 品物シール ショップ看板
【教具】 実物投影機 プロジェクター ホワイトスクリーン ストップウォッチ
- ③ 本時のねらい 「世界外来語ショップで品物を集めよう」に進んで参加し、自分の思いを持ち互いに伝え合おうとする。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
8	ウォームアップ 親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・本時の学習の流れやめあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をする。学習の流れやめあてを掲示し、見通しが持てるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に挨拶をする。本時のめあてを示し、意欲付けを図る。 	<p>■活動に進んで参加し、自分の思いを持ち互いに伝え合おうとしている。 (行動観察・ショッピングカード)</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">ジェスチャーを付けて歌を歌おう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声で歌をリードし、児童とともに楽しい雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るい声で児童に呼びかけ、楽しい雰囲気作りをする。 	
13	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童と一緒にチャンツを行い、自信を持って英語表現が言えるように援助する。 ○答えの部分は、児童に色カードを引かせ、それに示された果物や野菜の言葉を当てはめさせて言わせ、興味・関心が持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リズムに乗って楽しく活動できるように、強弱を付けながら、繰り返し行う。 ○児童が自信を持って発音できるように、ゆっくり大きな口形で言う。 	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">Chants ♪ What do you want ? ♪</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・What do you want?の表現のチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで調べた外来語を言おう。 	
18	楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・T1が示したカードで練習する。 ・発音の難しい言葉を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを見せながら児童の助けとなるよう、T2の発音した語と一緒に繰り返して発音する。 ○次の活動で使用する外来語を、語源が英語のものとその他の国のものに分けて掲示し、視覚的に外来語のふるさとを再確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○語源が英語の外来語については、日本語と英語の発音の違いを意識させながら練習をさせる。難しい発音については、特に強調して示し、聞き取りやすくした上で練習をさせる。 	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">「世界外来語ショップ」で、いろいろな国から来た外来語の品物を集めよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店のアピールをする。 ・ゲームのやり方を知る。 ・ゲームを行う。 ①店員、お客に分かれる。 ②お客は、世界外来語ショッピングカードを持ってお店を回る。 ③店員は欲しい物を尋ね、お客が答えた商品のシールを渡す。お客は、それをカードに貼り、6つのお店を回る。 ④店員とお客を交代して活動する。 	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が活動しているところへ行き、発音のアドバイスをしたり、活動の仕方の手助けをしたりする。 </div>	
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特に、英語を使おうとする態度面や能力面で良かったところを伝える。 ○挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語表現について良かったところを伝える。 ○挨拶をする。 	

⑤ 言語材料 What do you want? I want a pudding, please. Here you are. Thank you. You're welcome.

⑥ 指導後の反省点等

- ・自分たちが調べた外来語をそれぞれのお店に品物にし、さらにパンフレットや看板、ショッピングカードなどを準備することで、児童の売りたい・買いたいという気持ちが高まり、意欲的に活動ができていた。
- ・ショップでやりとりをしている時に、自分の思いを表現している児童にその場で具体的な褒める言葉をかけ評価ができたなら良かった。

第6学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 アルファベットで遊ぼう（2時）
- ② 使用教材 めあてカード、英語ノート、アルファベットカード、パソコン、電子黒板
- ③ 本時のねらい アルファベットの文字の読み方を聞いて、どの大文字アルファベットかがわかる。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
0	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 今日の授業の流れを知る。 めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 今日の学習の流れとめあて「アルファベットの文字の読み方を聞いて、その大文字アルファベットを見つけよう。」を掲示し、見通しを持って学習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 	<p>■アルファベットの文字の読み方を聞いて、その大文字アルファベットを見つけようとしている。 (行動観察・英語ノート)</p>
3		“The Alphabet Song” を歌おう。			
		<ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく歌うことで本時への意欲付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 動作をつけて歌うことで楽しんで活動できるよう支援する。 	
6	ふれる	パドレイグタイム【アイルランドのスポーツについて】			
		<ul style="list-style-type: none"> ALTの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTの話を聞いて教師が持った感想を述べたり、キーワードになる言葉を繰り返したりして、児童の興味・関心をひきつける。 	<ul style="list-style-type: none"> アイルランドのスポーツについてゆっくりわかりやすく話をする。資料になるものがあれば、提示して見せる。 	
11		キーワードカルタをしよう			
		<ul style="list-style-type: none"> アルファベットカードを使ってキーワードカルタ取りをする。 キーワードを決めておき、そのキーワードをALTが言ったらカードを取る。それ以外の場合は、声を出して発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> シークレットナンバーを用意しておき、その数の枚数を取った児童が勝ちになることを説明する。 カードを取ることに執着し発音が疎かになっている児童には、しっかり発音するよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムや声の強弱を工夫し、楽しい雰囲気を作り出す。 	
16	楽しむ	線つなぎをしよう			
		<ul style="list-style-type: none"> ALTの言うアルファベットや数字順に線で結ぶ。 結び終わった後、どのような絵が現れるのかを答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を説明する。線を結ぶと何かの絵が現れることを告げる。 児童が線をつなぐのを確認しながら、黒板に大文字アルファベットカードを貼っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取りやすいように大きくはっきりとした声で発音する。 文字の単純な発音に興味が続くように、わざと小さな声で言ったり、早く言ったりして、児童がもう一度言ったり、大きな声で言ったりしてほしくなるような場面をあえて設定する。 	
26	親しむ	集中力ゲームをしよう			
		<ul style="list-style-type: none"> ALTの言うアルファベットを聞き覚える。 「Start!」の合図でアルファベットのカードを順に並べる。 ALTが再度言ったアルファベットを聞き、答えを確かめる。 アルファベットを順に発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTと一緒にデモンストレーションをし、活動の内容を説明する。 しっかり聞くよう伝える。 児童が慣れてきたら、発話するアルファベットの数を増やすようALTに言う。 なかなか聞き取れなかったり、覚えられなかったりした児童には、一緒について発話する。 答えを確認するだけでなく、答え合わせ後に、アルファベットを読む時間をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのデモンストレーションをする。 聞き取りやすいように、ゆっくりはっきり発音する。 アルファベットを読む時に、発音のアドバイスをしたり賞賛したりする。 	
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っていたところや良かったところを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 良かったところを伝える。 	
45			<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	

⑤ 言語材料 A～Zのアルファベット

⑥ 指導後の反省点等

「パドレイグタイム」では、母国アイルランドのスポーツ、特にサッカーについての話をしてもらった。サッカーに興味がある児童はもちろん、興味がない児童も外国の文化に興味深そうに聞いた。次時の活動では現在行われているワールドカップを話題にした活動を計画しているため、関心を持って次時につなげることができそうである。

「集中力ゲーム」では、前時に作成した児童オリジナルのアルファベットカードを使った。巻末のカードとは違い、自分または友達が出したカードが出てくると、嬉しがったりはにかんだりしながら楽しく活動ができた。

第6学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 アルファベットで遊ぼう（3時）
- ② 使用教材 めあてカード，英語ノート，アルファベットカード（児童用・コピーしたもの）
アルファベット・パズル用のカード（掲示用）CDラジカセ，CD，パソコン，電子黒板，実物投影機
- ③ 本時のねらい アルファベットの文字を見て，自らそれを読もうとし，大文字アルファベットとその読み方とを一致させる。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
0	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 今日の授業の流れを知る。 めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 今日の学習の流れとめあて「身の回りにあるアルファベットを探して読もう」を掲示し，見通しを持って学習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 	
3		“The Alphabet Song”を歌おう。			
8	ふれる	<ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく歌うことで本時への意欲付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 動作をつけて歌うことで楽しんで活動できるよう支援する。 	
		アルファベット・パズルをしよう			
		<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの発音の練習をする。 英語ノートを使って，左右のパズルのピースを線で結びアルファベットを完成させる。 できたアルファベットを声に出して読み，答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した文字を全体で確認できるように，英語ノートにある8枚のアルファベットのピースを拡大したものを黒板に貼る。 児童に黒板に貼られたアルファベットのピースを合わせ，アルファベットを完成させてから，一つずつ答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音のモデルをし，児童に真似をさせる。 完成したアルファベットを，ゆっくり発音する。 	
13	楽しむ	アルファベット並べ替えをしよう			
		<ul style="list-style-type: none"> ALTの言うアルファベットを並べ替える。 並べ替えたアルファベットが，どこの国を表しているのかを考える。 並べ替えたアルファベットを発音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのやり方を説明する。アルファベットの文字を並べ替えると，ある国の名前になることを告げる。 聞き取りにくい児童には，一緒について励まし，抵抗感を減らす。 答え合わせをする中で，ローマ字と英語との表記の違いに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのデモンストレーションをする。 聞き取りやすいように，ゆっくりはっきり発音する。 アルファベットを読んだ児童に対して，発音のアドバイスをしたり賞賛したりする。 	
23	親しむ	身の回りにあるアルファベットを探して読もう			
		<ul style="list-style-type: none"> 教室にあるアルファベットを歩いて探す。 見つけたら英語ノートに書き写す。 ALTのところへ行き，見つけたアルファベットを読み聞いてもらう。 書き写したアルファベットを発表し，他の児童はそれがどこにあるかを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室にあるアルファベットの大文字を見つけ，黒板にその文字を児童に紹介しながら，活動の内容を説明する。 見つけたアルファベットは，英語ノートに書き写し，ALTのところへ行きアルファベットを読むよう伝える。 なかなか見つけられない児童には，見るポイントを助言する。 児童が書き写したアルファベットを実物投影機で映し，全体が見えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室にあるアルファベットを紹介する。 アルファベットを読んだ児童に対して，発音のアドバイスをしたり賞賛したりする。 	<p>■進んで身の回りにあるアルファベットの文字を探し，読もうとしている。 (行動観察・英語ノート)</p>
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っていたところや良かったところを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 良かったところを伝える。 	
45			<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	

⑤ 言語材料 A～Zのアルファベット

⑥ 指導後の反省点等

「アルファベット並べ替え」では，ALTの言ったアルファベットを並べ替えた。話題性のあるワールドカップ出場国を取り上げたことで，興味・関心を持って取り組み，意欲の継続に効果的な教材であった。さらに，世界地図やアルファベットのつづりを電子黒板に映し視覚に訴えたことで，児童の集中を高めることができた。「身の回りにあるアルファベットを探そう」では，児童は教室にあるアルファベットを意欲的に探した。見つけたアルファベットをALTに聞いてもらうようにしたが，ALTの前に長い列ができてしまった。何をねらいにするのかを明確にして，工夫することが必要であった。

第6学年 外国語活動学習指導案

① 単元名 オリジナル『大きなかぶ』の劇をつくろう（2時） 英語ノート2（P50～55）

② 使用教材 【教材】 ワークシート 場面絵カード

【教具】 めあてカード パソコン 電子黒板 プロジェクター

③ 本時のねらい 進んで英語のセリフを考えたり尋ねたりして、意欲的に練習しようとしている。

④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (中学校教諭)	
0	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 今日の授業の流れを知る。 めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 中学校の先生を紹介する。 今日の学習の流れとめあて「進んで英語のセリフを考えたり尋ねたりしよう」を掲示し、見通しを持って学習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 自己紹介をする。 	<p>■進んで英語のセリフを考えたり尋ねたりして、意欲的に練習しようとしている。 (行動観察・ワークシート)</p>
2	慣れる	Chants ♪ Yo-heave-ho! ♪			
		<ul style="list-style-type: none"> チャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを行い、自信を持って英語表現を言えるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にチャンツを行い、自信を持って英語表現を言えるように支援する。 	
5	親しむ	場面絵カードのセリフを練習しよう			
		<ul style="list-style-type: none"> 場面絵カードに対応したセリフを練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な気持ちの読み方をして、変化のある繰り返しをさせ、英語表現に慣れ親しませるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面で使用する英語表現の発音のモデルをし、児童に真似をさせる。 児童に対して発音のアドバイスをしたり賞賛したりする。 	
10	楽しむ	オリジナル劇の英語台本を作ろう			
		<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれて相談をしたり、T2に尋ねたりする。 台本ができたグループから練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の続きで、グループごとに物語を作ることを告げる。グループで配役を決めたり、英語でのセリフを考えたり尋ねたりするよう指導する。 児童がグループに分かれて相談している間、各グループを回り、その進捗状況を確認するとともに、一緒にセリフを練習したり、ジェスチャーのアドバイスをしたりする。 児童から要望があれば、実際の物語のCDをかける。 	<ul style="list-style-type: none"> グループが考えた日本語のセリフを英語に直すアドバイスをする。 児童がグループに分かれて相談している間、各グループを回り、その進捗状況を確認するとともに、一緒にセリフを練習したり、ジェスチャーのアドバイスをしたりする。 正しい発音した児童にはその場で称賛し意欲を高めるようにする。 	
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っていたところや良かったところを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 良かったところを伝える。 	
45			<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	

⑤ 言語材料 Please help me. What's the matter? Look at this. Wow, a very big ~. Please help me. OK.
Are you ready? Yes! One, two, three. ○ pulls the ~. △ pulls ○. One, two, three! Yo-heave-ho!

⑥ 指導後の反省点等

本時は、中学校教諭との共同授業であった。「場面絵カードのセリフを練習しよう」では、中学校の先生に色々な表現（感情）で発音してもらい、それを真似して練習をした。初めての先生で緊張していた児童であったが、このやり取りを通して、緊張がほぐれ距離が縮まった。「オリジナル劇の英語台本を作ろう」では、前時に考えた日本語シナリオを英語のシナリオにしていっていった。児童は、日本人である中学校の先生に安心して日本語で尋ねることができ、微妙な意味合いのある日本語を英語に直すことができた。また、事前に日本語のシナリオを中学校に送っていたため、活動が始まると中学校の先生もすぐに活動に入ることができた。しかし、本単元は劇をするために3つのグループで活動を行っていたが、中学校の先生は2人だったので、1グループだけ作業が進まなくなってしまうことが課題であった。さらに、ほとんどのシナリオをオリジナルにしてしまったため、翻訳するのに時間がかかってしまった。オリジナルの部分が多いため次時以降の練習時に困惑することが予想される。オリジナルにする箇所を事前に細かく限定しておけばよかった。次時以降はALTだけでなくALTの音声を録音し、それを聞いて各グループで何度も練習するような計画をしていきたい。しかしながら、来年度進学する中学校の先生ということで、児童にとってもよかったし中学校の先生にとっても児童の様子や学習の様子がわかりよかったようである。

第6学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 将来の夢を紹介しよう（2時） 英語ノート2（P56～63）
- ② 使用教材 【教材】 英語ノート 職業絵カード インタビューシート シール
 【教具】 めあてカード パソコン 電子黒板 プロジェクター実物 投影機 CDラジカセ CD
- ③ 本時のねらい 将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しみ、インタビューゲームに進んで取り組もうとする。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援	評価の規準・方法
0	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 今日の学習の流れを知る。 めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 今日の学習の流れとめあて「将来の夢について言ったり、聞いたりしよう」を掲示し、見通しを持って学習できるようにする。 	
5	親しむ	<p style="text-align: center;">歌を歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌を歌う。 <p style="text-align: center;">職業当てクイズをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に映し出されたヒントをもとに、それが何の職業なのかを考える。 答えを確認し、全体で声に出して発音する。 職業名の発音練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく歌うことで本時への意欲付けを図る。 	
20	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> 「小学生のなりたい職業ベスト10」を予想する。 「What do you want to be?」と聞き、正解が出たら「I want to be ～.」と繰り返し発音する。 自分と将来就きたい職業と同じものが入っているかどうか確認する。 <p style="text-align: center;">Chants ♪ When I Grow Up ♪</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体で確認できるように、プロジェクターでヒントを電子黒板に映す。 一つずつ答えを確認する。 ALTの音声をスピーカーから流しながら、それぞれの職業名の発音を繰り返し練習できるようにする。 全国の小学生のなりたい職業をランダムに出しておき、空欄の箇所の職業名を予想しやすいようにしておく。 ALTの音声をスピーカーから流しながら、それぞれの職業名の発音を繰り返し練習できるようにする。 全体→グループ→個人と段階を追って練習することで、次の活動につなげられるようにする。 	
25	楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 「小学生のなりたい職業ベスト10」に入っている職業名をチャンツの職業名と入れ替えて、チャンツをする。 <p style="text-align: center;">インタビューゲームをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューゲームの仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな職業に入れ替えて言わせることにより、児童が飽きることのないようにする。 	
40	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> インタビューゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> やり方を口頭のみで説明するのではなく、インタビューのやり方のデモンストレーションをビデオで流し、どの児童も十分に理解できるようにする。 学級の児童のなりたい職業名を書いてあるワークシートを用意しておき、インタビューをして聞き取った職業名の欄にシールを貼っていくことを説明する。 初めは全体で尋ね方と答え方の練習をさせ、流れを把握させたり、自信をつけさせたりする。 児童の様子を観察し、言いにくそうにしている児童にはそばに寄り添い、一緒に尋ねたり答えたりする。 うまく会話が成立した場合は称揚する。 英語での表現がわからない児童がいれば、ジェスチャーで表現してもよいことを伝える。 活動後、学級の児童のなりたい職業の分布を全体に示す。 頑張っていたところや良かったところを振り返らせる。 	<p>■ 将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しんでいる。 （行動観察）</p> <p>■ インタビューゲームに進んで取り組んでいる。 （行動観察・インタビューシート）</p>
45		<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 	

⑤ 言語材料

teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, firefighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, engineer, police officer, pilot etc. radiographer, baseball player, pharmacist, carpenter, cake workman, soccer player, cartoonist, nursery teacher (※アンケート結果により追加)

What do you want to be? I want to be ～.

⑥ 指導後の反省点等

「職業当てクイズ」では、職業絵カードを段階的に児童に見せ、クイズ形式にしながらか発音練習を行った。興味・関心を持って取り組み、意欲の継続に効果的な教材であった。さらに、チャンツでは、「小学生のなりたい職業ベスト10」に入っている職業名をチャンツの職業名と入れ替えて行った。一つの職業を繰り返し言うのではなく、前の活動に出てきた職業名でチャンツをし、変化のある繰り返しを図ることができた。インタビューゲームでは、アンケート結果をもとにシートを作り活動をした。シールもオリジナルのものを作成し、友達同士活発にインタビューをすることができた。

第6学年 外国語活動学習指導案

- ① 単元名 将来の夢を紹介しよう（4時） 英語ノート2（P56～63）
- ② 使用教材 【教材】 英語ノート，職業絵カード，ワークシート
 【教具】 めあてカード，パソコン，電子黒板，CDラジカセ，CD
- ③ 本時のねらい 将来就きたい職業について，プレゼンテーションをする。
- ④ 本時の展開

時間	学習過程	児童の活動	教師の支援		評価の規準・方法
			T1 (HRT)	T2 (ALT)	
0	ウォームアップ	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 今日の授業の流れを知る。 めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 今日の学習の流れとめあて「将来の夢についてプレゼンテーションをしよう」を掲示し，見通しを持って学習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 	
		歌を歌おう。			
3	親しむ	<ul style="list-style-type: none"> CDに合わせて歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく歌うことで本時への意欲付けを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 動作をつけて歌うことで楽しんで活動できるように支援する。 	
		Chants ♪ When I Grow Up ♪			
5	楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな職業に入れ替えて言うことにより，児童に飽きずに言わせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音のモデルをし，児童に真似をさせる。 	
		将来の夢についてプレゼンテーションをしよう			
43	振り返る	<ul style="list-style-type: none"> スピーチのやり方を知る。 将来の夢についてプレゼンテーションをする。 友達のプレゼンテーションを聞いて，わかったことをワークシートの表に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションの仕方を説明する。 ①前時に作成したプレゼンテーションを使って，自分の将来つきたい職業を，その理由も含めて紹介することを告げる。 ②プレゼンテーションの仕方「挨拶，名前，将来つきたい職業・夢，理由，礼を言う」を説明する。 プレゼンテーションの仕方を担任が作ったプレゼンテーションを見せながら説明することで，児童が安心してプレゼンテーションができるようにする。 自分の考えや意見を述べる際には，その理由や根拠を述べることの大切さを児童に理解させるために，将来の夢の理由は，英語でなくても日本語や絵でも表現してもよいことにする。 友達のプレゼンテーションを聞きながらメモを取る活動を通して，記録を取ることによって，人の話をより深く理解できることを体験させるようにする。 スピーチ発表後には，一人一人が将来の夢の実現に向かって力強く進んでいくことを願って温かな感想を述べ，児童のプレゼンテーションを大事にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のプレゼンテーションが終わる度に称賛の言葉をかけ，プレゼンテーションや発表でALTに伝わった喜びを味わわせる。 	<p>■ 将来就きたい職業について進んで伝えようとしている。 (行動観察・英語ノート)</p>
45		<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っていたところや良かったところを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の発表についてよかったところや頑張りを伝える。 	
45			<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 		

- ⑤ 言語材料 teacher, doctor, cook, firefighter, nurse, baseball player, soccer player, radiographer, baseball player, pharmacist etc.
 What do you want to be? I want to be ~. I want to ~. I like ~.

⑥ 指導後の反省点等

本単元の1時目にALTから幼少時代の将来の夢について語ってもらった。そこで，次は児童がALTに将来の夢を紹介しようと学習を進めてきた。スピーチをする目的が明確になり，児童は意欲的に職業名や紹介の言い方の発音練習に意欲的に取り組んだ。また，総合的な学習（情報教育）と関連させて，ただスピーチをするだけでなく，プレゼンテーションを作り，プレゼンテーションでALTに自分の夢を紹介した。ALTに紹介するということが，少し緊張していた児童もいたが，終わる度にALTから称賛の言葉を言ってもらい，喜んでいった。また，プレゼンテーションにすることで，英語で言えないことも絵や日本語で表現できていたので，英語が苦手な児童も安心して自分の将来の夢を紹介することができていた。しかし，児童数18名ということで全員が発表するのには少し時間が張ってしまった。

外国語活動年間指導・評価計画 5年

回	単元名	主な活動と言語材料	評価規準
1	世界の「こんにちは」を知ろう①	【世界の様々な挨拶を知ろう】 どこの国のあいさつゲーム Hello. What's your name? My name is ~. Nice to meet you.	進んでいろいろな国のあいさつを言おうとしている。
2	世界の「こんにちは」を知ろう②	【挨拶の仕方を知ろう】 いろいろな国のあいさつでゲーム Hello. My name is ~ Nice to meet you. Nice to meet you, too.	あいさつのマナーを知り、進んであいさつをして自分の名前を言おうとしている。
3	世界の「こんにちは」を知ろう③	【みんなと挨拶をしよう】 いろいろな国のあいさつで自己紹介ゲーム Hello. My name is ~ Nice to meet you. Nice to meet you, too.	自分から進んで相手とあいさつし名刺を交換しようとしている。
4	ジェスチャーをしよう①	【感情や様子を表す言葉を知ろう】 How are you? I'm fine./happy/hungry/sleepy.	感情や様子を表す語を進んでジェスチャーで表わそうとしている。
5	ジェスチャーをしよう②	【進んでジェスチャーをしよう】 ジェスチャーゲーム How are you? I'm fine./happy/hungry/sleepy.	日本とは違うジェスチャーをする国があることに気づく。 進んでジェスチャーを付けて挨拶をしようとしている。
6	ジェスチャーをしよう③	【ジェスチャーを使って話しかけよう】 インタビューゲーム How are you? I'm fine./happy/hungry/sleepy.	進んで相手にジェスチャーを付けて挨拶をしようとしている。
7	ジェスチャーをしよう④	【ジェスチャーを付けて伝えよう】 インタビュー・ビンゴゲーム How are you? I'm fine./happy/hungry/sleepy.	感情や様子をジェスチャーを付けて表現し、相手に伝えようとしている。
8	数で遊ぼう①	【いろいろな国の数え方や、ジェスチャーを知ろう。1～10までの数字を言おう】 ジャンケンゲーム Ten Steps How many? one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten. rock, scissors, paper.	世界のじゃんけんや数を聞いたり言ったりしようとしている。 1～10までの英語を聞いたり言ったりしようとしている。
9	数で遊ぼう②	【11から20までの数を知ろう】 数字ピラミッドゲーム Twenty Steps How many? eleven,	11～20までの数字を言ったり使ったりしようとしている。

		twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty	
10	数で遊ぼう③	【数を尋ねたり、1～20までの数で答えたりしよう】 キーナンバーゲーム スネークス・アンド・ラダーズゲーム Twenty Steps How many? one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty	友達に数を尋ねたり答えたりしてゲームに参加しようとしている。
11	数で遊ぼう④	【数を尋ねたり、1から20までの数で答えたりしよう】 好きな漢字あてゲーム 数字ピラミッドゲーム How many? one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve, thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen, twenty	数を使ったゲームを友だちとやりとりしながら楽しもうとしている。
12	自己紹介をしよう①	【好きなものを言ったり尋ねたりしよう】 キーワードゲーム ○×ゲーム Do you like ~? Yes, I do. No, I don't.	好きなものやきらいなものを聞き取ろうとしている。
13	自己紹介をしよう②	【好き・嫌いのインタビューをしよう】 Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. I like ~. I don't like ~.	好きなもの嫌いなもののインタビューをしようとしている。
14	自己紹介をしよう③	【自己紹介しよう】 Hello. My name is ~. I like ~. Thank you.	はっきりした声で自己紹介をしようとしている。
15	いろいろな国の衣装を知ろう①	【いろいろな国の衣装を知ろう】 Do you like blue? Yes, I do. /No, I don't. I like red cap. /green pants/blue skirt.	世界には様々な衣服があることを知り、進んで調べようとしている。
16	いろいろな国の衣装を知ろう②	【好きな衣服を買ったり、売ったりする表現を言おう】 May I help you? Do you have blue shoes? Yes, I do. /No, I don't. Here you are. Thank you. Anything else? No, that's all.	好きな衣服を買ったり売ったりする表現を知り進んで発話しようとしている。
17	いろいろな国の衣	【買い物をしよう】	好みをはっきり言ったり相

	装を知ろう③	May I help you? Do you have blue shoes? Yes, I do. /No, I don't. Do you like blue? Yes, I do. /No, I don't. I'm sorry. I don't have yellow T-shirt. Here you are. Thank you. Anything else? No, that's all.	手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物を楽しもうとしている。
18	いろいろな国の衣装を知ろう④	【買ったものを発表しよう】 I bought a red cap. I don't like blue.	買った物が聞き手に伝わるように発表しようとしている。
19	外来語を知ろう①	【身近な外来語を知ろう】 キーワードゲーム banana, cabbage, lemon, tomato, cake, donut, milk, soccer ball, basketball, glove, gorilla, koala, kangaroo, calendar, piano, guitar, TV	外来語とそのもととなる語とでは発音がちがうことに気づき、英語でのやりとりに進んで取り組んでいる。
20	外来語を知ろう②	【いろいろな外来語のふるさとを知ろう】 What do you want? I want a Pudding, please.	いろいろな外来語があることを知るとともに、欲しい物を尋ねたり答えたりする英語表現を知り、進んで聞いたたり発話したりしようとしている。
21	外来語を知ろう③	【世界外来語ショップの準備をしよう】 What do you want? I want a Pudding, please. Here you are. Thank you. You're welcome.	欲しい物を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しみ、ショップリハーサルに進んで取り組んでいる。
22	外来語を知ろう④	【世界外来語ショップをしよう】 What do you want? I want a Pudding, please. Here you are. Thank you. You're welcome.	「世界外来語ショップで品物を集めよう」に進んで参加し、自分の思いを持ち互いに伝え合おうとしている。
23	時間割を作ろう①	【教科の言い方を知ろう】 教科名当てジェスチャーゲーム Japanese, Math, Music, Science, Arts and Crafts, etc.	外国の小学校でどのような教科が学習されているか興味を持って聞こうとしている。
24	時間割を作ろう②	【教科や曜日のゲームをしよう】 曜日当てゲーム ビンゴゲーム 時間割聞き取りゲーム I study Japanese on Monday.	教科名や曜日を使ったゲームを進んでしようとしている。
25	時間割を作ろう③	【自分のオリジナル時間割を作って発表しよう】 時間割聞き取りゲーム	お気に入りの曜日時間割を作り、進んで発表しようとしている。

		What do you study? I study English. I teach Japanese. On Tuesday I study Japanese, English and P.E.	
26	時間割を作ろう④	【グループで作った時間割を発表しよう】 時間割聞き取りゲーム What do you study? I study English. I teach Japanese. On Tuesday I study Japanese, English and P.E.	自分たちで作成した一週間の時間割を進んで発表しようとしている。
27	ランチメニューを作ろう①	【いろいろな国の朝食を知ろう】 I eat fruits and cereal in the morning.	朝食に食べるものが違う国があることを知り、その違いを進んで書こうとしている。
28	ランチメニューを作ろう②	【食べ物や料理名を知ろう】 キーワードゲーム What would you like? I'd like juice./sandwich/salad/pizza/bread. etc.	食べ物や料理名を進んで言おうとしている。
29	ランチメニューを作ろう③	【丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりしよう】 ビンゴゲーム What would you like? I'd like juice.	自分が欲しい食べ物や料理を進んで言おうとしている。友達と協力してオリジナルメニューを作ろうとしている。
30	ランチメニューを作ろう④	【オリジナルランチセットを作り発表しよう】 What would you like? I'd like juice.	自分達のオリジナルランチをはっきりとした声で紹介しようとしている。友達の発表を聞き、進んで質問しようとしている。
31	クイズ大会をしよう①	【これは何ですか?の表現を覚えよう】 What's this? It's a pencil./fish/ruler/eraser/starfish/lobster/Hat/jellyfish/octopus/book/pencil case.	漢字の成り立ちのおもしろさについて知ろうとしている。
32	クイズ大会をしよう②	【これは何か答えよう】 ブラックボックスクイズ シルエットクイズ What's this? It's a book. Hint, please. It's a food./fruit/stationary/animal/big/small/red/blue. That's right. Yes./No.	What's this?に対して答えようとしている。
33	クイズ大会をしよう③	【クイズを作ろう】 What's this? It's a bird.	What's this?を使って尋ねるクイズや相手が答えやすいヒントを作ろうとしている。

			いる。
34	クイズ大会をしよう④	<p>【クイズ大会をしよう】</p> <p>ピクチャークイズ ブラックボックスクイズ</p> <p>シルエットクイズ</p> <p>What's this? It's a bird. Hint, please .</p> <p>It's a</p> <p>food./fruit/stationary/animal/big/small/red/blue. That's right. Yes./No.</p>	友達に尋ねたり答えたりして、クイズ大会に参加しようとしている。
35	1年間の学習を振り返ろう①	<p>【1年間の学習を振り返ろう】</p> <p>英語コミュニケーションすごろく</p> <p>I like dogs. Do you like apples?</p> <p>How are you? Japanese and science.</p> <p>What's this? etc.</p>	学習した内容を盛り込んだすごろくの答えを見つけるために、友だちと教え合ったりヒントをもとに英語ノートを見直したりしようとしている。

外国語活動年間指導・評価計画 6年

回	単元名	主な活動と言語材料	評価規準
1	行ってみたい国を紹介しよう①	【世界には様々な英語表現があることを知ろう】 What country is this? I want to go to Italy. I want to eat pizza. color : red, white, blue など shape : star, diamond, circle など	様々な英語があることを知ろうとしている。
2	行ってみたい国を紹介しよう②	【行きたい国やその理由を聞き取ろう】 ビンゴゲーム I want to go to ~ . I like ~ . I want to see ~ .	まとまった話を聞く中で行きたい国やその理由について聞き取ろうとしている。
3	行ってみたい国を紹介しよう③	【行きたい国を尋ねてみよう】 I want to go to Italy. I want to eat kimchi. I want to play soccer.	行きたい国やその理由に関するスピーチを聞こうとしている。
4	行ってみたい国を紹介しよう④	【自分が行きたい国をクイズにしよう】 Where do you want to go? I want to go to Italy. I want to play soccer.	自分の行きたい国について、理由とともに発表しようとしている。
5	自分の一日を紹介しよう①	【時差があることを知り、時間についての表し方を知ろう】 one~fifty	興味を持って、世界のことを聞こうとしている。
6	自分の一日を紹介しよう②	【一日の生活の表し方を知ろう】 おはじきゲーム ジェスチャー・ゲーム What time do you get up? I get up at 6:00 (six) . get up, go to bed, eat breakfast, take a bath, eat school lunch, play table tennis, study, play volleyball, play basketball, go to school,	一日の生活について意欲的に英語表現を練習しようとしている。
7	自分の一日を紹介しよう③	【自分の生活表を作ろう】 What time do you get up? I get up at 7:00 (seven) .	生活表の作り方を理解し、生活表を作成する。
8	自分の一日を紹介しよう④	【自分の一日を紹介しよう】 What time do you get up? I get up at 7:00 (seven) .	生活表をもとに自分の生活を紹介しようとしている。
9	アルファベットで遊ぼう①	【アルファベットの大文字の読み方を知ろう】 アルファベット・カルタ A~Z	大文字アルファベットの読み方と文字とを一致させようとしている。

10	アルファベットで遊ぼう②	【アルファベットの文字の読み方を聞いて、大文字を知ろう】 ミッション・ゲーム A～Z one～twenty	アルファベットの文字の読み方を聞いて、その大文字アルファベットを見つけようとしている。
11	アルファベットで遊ぼう③	【アルファベットを読み、大文字とその読み方とを一致させよう】 アルファベット・パズル A～Z Good job!, Great!, Well done! Wonderful!, Excellent!, Fantastic!	進んで身の回りにあるアルファベットの文字を探そうとしている。
12	できることを紹介しよう①	【友だちの話を聞き、何ができて何ができないのかを知ろう】 Can you swim? Yes, I can. No, I can't. I can swim. I can't swim.	まとまった話を聞いて、誰がどんなことができるかを聞き取ろうとしている。
13	できることを紹介しよう②	【質問に答えて、自分のできることできないことを伝えよう】 ジェスチャーあて Can you ~? Yes, I can. No, I can't. play soccer, make an omelet, play the piano, play kendama, play table tennis, swim etc.	あることができるかを尋ねたり答えたりしようとしている。
14	できることを紹介しよう③	【友だちと互いにどのようなことができるのかを尋ねたり答えたりしよう】 ショー・アンド・テルをしよう（準備） Can you ~? Yes, I can. No, I can't.	友だちにわかりやすいように、自分ができることやできないことを絵などで表現しようとしている。
15	できることを紹介しよう④	【自分ができるところを発表しよう】 ショー・アンド・テルをしよう Hello. I can ~. I can't ~.	自分ができるところやできないところを発表しようとしている。相手ができることやできないことを聞きとろうとしている。
16	「案内は任せて」①（道案内）	【建物やお店の言い方を知ろう】 おはじきゲーム 指さしゲーム What's this? school, police box, bank, bus stop, flower shop, restaurant, post office, fire station, park, bookstore, barbershop, department store, etc.	ゲームをしながら、方向や動きを指示する表現に興味を持ち、使おうとしている。
17	「案内は任せて」②（道案内）	【方向や動きを指示する表現を聞いて、どこに着いたのかを聞き取ろう】 サイモン・セズ・ゲーム Where is ~? Turn right. left. Go straight. Stop.	相手に道順をはっきりと伝え、コミュニケーションを図ろうとしている。

18	「案内は任せて」 ③ (道案内)	【道案内をしよう】 Where is ~? Turn right. left. Go straight. Stop. Thank you.	道案内の会話を通して、必要なことを相手にはっきりと伝え、コミュニケーションを続けようとしている。
19	「案内は任せて」 ④ (道案内)	【京都の町の道案内をしよう】 Where is ~? Turn right. left. Go straight. Stop. Thank you.	修学旅行に行った京都の町の道順を尋ねたり答えたりしようとしている。
20	将来の夢を紹介しよう①	【様々な職業の言い方を知ろう】 ビンゴ・ゲーム teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, firefighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, engineer, police officer, pilot, scientist I want to be ~.	日本と外国の職業事情等の類似点・相違点を知り、職業を表す英語表現に慣れ親しんでいる。
21	将来の夢を紹介しよう②	【なりたい職業は何ですかの表現を覚えよう】 職業当てクイズ インタビューゲーム What do you want to be? I want to be a teacher.	将来就きたい職業について尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しみ、インタビューゲームに進んで取り組んでいる。
22	将来の夢を紹介しよう③	【将来の夢の紹介の準備をしよう】 What do you want to be? I want to be a teacher. I like ~.	準備の活動に進んで取り組み、自分の思いを持ち、それを英語ノートに表そうとしている。
23	将来の夢を紹介しよう④	【自分の夢をプレゼンテーションしよう】 What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ~. I like ~.	夢にかけた自分の思いを進んで話そうとしたり、友達の思いを進んで聞こうとしたりしている。
24	オリジナルの劇を創ろう①	【世界の英語の物語を聞き、題名を推測しよう】 Please help me. The Peach Boy. The Big Turnip. The Wolf and the Seven Kids.	英語の物語に興味を持ち、感想を言おうとしている。
25	オリジナルの劇を創ろう②	【オリジナル劇を考えよう】 The Wolf and the Seven Kids. I like~. I want to go to ~.etc.	繰り返しの面白さを入れて、簡単な英語表現を考えようとしている。
26	オリジナルの劇を創ろう③	【オリジナル劇を創ろう】 I like~.I want to go to ~.Wait, wait, wait! etc.	教え合ったり励まし合ったりしながら、練習しようとしている。
27	オリジナルの劇を創ろう④	【オリジナル劇を創ろう】 Wait, wait, wait! Listen carefully! Let' s hear your voice.etc.	めあてを持ち、セリフや動きを考えて表現し、改善点を見つけようとしている。

28	オリジナルの劇を創ろう⑤	<p>【オリジナル劇を仕上げよう】</p> <p>I like～.I want to go to ～.</p> <p>Wait, wait, wait! Listen carefully!</p> <p>Let' s hear your voice. etc.</p>	登場人物になりきり, 演じようとしている。
29	オリジナルカレンダーを作ろう①	<p>【日本の季節や特徴を伝え英語での月の言い方に慣れよう】</p> <p>ヒント・ヒントゲーム クラッシュゲーム</p> <p>ミッシングゲーム</p> <p>January, February, ～ December</p>	世界と日本の祭りや行事などに興味をもち, それが何月のものか積極的にヒントを出したり答えたりしようとする。
30	オリジナルカレンダーを作ろう②	<p>【友達に誕生日を尋ねたり自分の誕生日を答えたりしよう】</p> <p>キー・ワード・ゲーム</p> <p>January, February, ～ December</p> <p>first ～ thirty-first までの序数</p> <p>grandfather, grandmother, father, mother, brother, sister</p> <p>When is your birthday? My birthday is～.</p>	カレンダーの月日の言い方を理解し, お互いの誕生日を伝え合おうとしている。
31	オリジナルカレンダーを作ろう③	<p>【家族の誕生日を紹介し合い友達とのコミュニケーションを楽しもう】</p> <p>聖徳太子ゲーム</p> <p>January, February, ～ December</p> <p>first ～ thirty-first までの序数</p> <p>grandfather, grandmother, father, mother, brother, sister</p> <p>My father' s birthday is ～?</p>	英語での月の言い方や誕生日の言い方に慣れ親しんでいる。
32	オリジナルカレンダーを作ろう④	<p>【オリジナルカレンダーを完成させよう】</p> <p>ペアマッチゲーム 祝祭日クイズ</p> <p>インタビューゲーム</p> <p>When is your birthday? My birthday is ～.</p> <p>My father' s birthday is ～.</p>	誕生日や祝祭日を聞き, 月日を確認しながら書き込もうとしている。
33	いろいろな文字があることを知ろう①	<p>【アルファベットには小文字もあることを知り, 21以上の数字を言おう】</p> <p>a～z tewnty-one ～ one hundred</p> <p>penguin, panda, tiger, bird, monkey, elephant, giraffe, bear</p>	様々な文字を見て, それがどの言語の文字であるのかを考えようとしている。
34	いろいろな文字があることを知ろう②	<p>【小文字を認識しよう】</p> <p>ブロック色塗り</p> <p>a～z twenty-one ～ one hundred</p> <p>one hundred ninty-two</p>	アルファベットの小文字とその読み方とを一致させようとしている。
35	いろいろな文字があることを知ろう③	<p>【アルファベットを読み, 小文字とその読み方とを一致させよう】</p> <p>a～z</p>	アルファベットの文字の読み方と小文字とを一致させようとしている。